

競技注意事項

本大会は、2024年（一財）日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項ならびに申し合わせ事項により実施する。

1. 招集について

- 競技者は、出場種目の招集開始時刻がきたら招集所で待機し、招集完了時刻までに選手控え場所で競技者係からの点呼をうける。その際、アスリートビブスの確認と、必要に応じシューズの確認を受ける。四種競技も、すべての種目で招集所において競技者係から同様の点呼を受ける。
- 招集所（競技者係）の位置は、本競技場北側ゲート（100mスタート側）の外側に設ける。**
- 招集はすべて競技者係の指示に従う。招集開始時刻・完了時刻は次の通りとする。

		予選	決勝
トラック競技	招集開始—完了時刻	25分前～15分前	20分前～15分前
フィールド競技（幅・高・砲）	招集開始—完了時刻		40分前～30分前
（棒高跳）	招集開始—完了時刻		70分前～60分前

※1 四種競技も同様にトラック種目は25分前～15分前、フィールド種目は40分前～30分前とする。

※2 1500m、3000m、4×100mR 決勝に関しては25分前～15分前とする。

- 招集に遅れた者の出場は認めない。
- 招集完了後、勝手に招集場所を離れてはならない。移動は、競技者係の指示に従う。
- 選手招集エリア内は、点呼を受ける選手以外の出入りを禁止する。
- 2つの競技に出場する競技者のうち、招集時間や競技時間が重なる場合は、多種目同時出場届（用紙は受付時配布済み）を提出し、招集の際に競技者係の指示に従って行動する。
- リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出する。次のラウンドに進出したチームは、オーダー用紙を競技者係（招集所）に受け取りに来ること。
- アスリートビブスは、ユニフォームの胸、背に交付された大きさのまま縫いつけるか安全ピンで確実に止めること。（跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部のいずれか一方でよい）
- トラック競技の出場者は招集の際、競技者係よりシール式の腰ナンバーカードを受け取り、ランニングパンツの右腰やや後方に取り付ける。シールを剥がしたゴミは、指定された（招集所・スタート地点）ゴミ袋に捨てること。

2. レーン・試技順

- プログラムの記載の上から下への番号順とする。ただし、四種競技は、種目ごとに試技順が違うのでプログラムで確認すること。また四種競技の最終種目における組み合わせは、それまでの得点をもとに編成する。
- トラック競技の決勝のレーン順及びフィールド競技の決勝の試技順は番組編成員で公平に抽選し、第1ゲート外側（メインスタンド裏）記録速報掲示板、十勝陸協WEB速報にて掲示する。
- 抽選が必要な場合は、当該監督および競技者にアナウンスで連絡し、大会本部において当該競技者あるいは代理人による抽選を行う。なお、アナウンス後5分を経過しても当該競技者あるいは代理人が来なかった場合は、主催者が代行する。
- 決勝タイムレースは、予選の記録上位8名が決勝に、決勝進出者を除いた記録上位8名がトライアルレース（TR）に進出するものとする。

3. トラック競技

- トラック競技において次のラウンド進出者を決めるにあたり、【競技規則 TR21.1～5】を適用する。
- 写真判定のため、腰ナンバーカードを使用するがリレーの場合は第4走者のみとする。
- 男女1500m、男女3000mはタイムレースで行う。番組編成は申込時の持ちタイムにより行う。
- 男女3000mは、出場者数に応じてグループスタートとすることもある。
- 【競技規則 TR16.5】は本大会では適用せず、注意を与えるものとする。
- 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンに沿って走り、前後左右の安全を確認してからレーンを出ること。
- リレー競技のマーカの使用は1カ所とする。マーカは出発係が配布する。使用したマーカは、そのチームで処理すること。
- 個人種目のゴール後は南ゲート（ゴール側）を出てメインスタンド裏を通り、北ゲートからスタート地点に戻る。（競技に支障がなければバックストレート外側を通過してスタート地点に戻ってもよい）**
1500mは場内外側を最短距離でスタート地点に戻ること。
リレー種目においては、同組の全チームがゴール後、1走から3走は場外外側を最短距離で、4走は南ゲート（ゴール側）を出てメインスタンド裏を通り北ゲートからスタート地点に戻ることに。

4. フィールド競技

(1) 走高跳・棒高跳

① 走高跳はバーの上げ方は次の通りとする。

男子 決勝 練習 1m45 1m60 試技開始 1m50～1m60 まで 5cm 以降 3cm 上がりとする。

女子 決勝 練習 1m30 1m45 試技開始 1m35～1m45 まで 5cm 以降 3cm 上がりとする。

② 棒高跳はバーの上げ方は次の通りとする。(最後の一人になるまでは、下記の通り)

	2m20	
練習	2m70	試技開始 2m40→2m60→2m80→3m00 以降 10cm 上がりとする。
	3m20	
	3m70	

③ 棒高跳の競技者は、自分の希望する支柱の位置を練習時に担当審判員に申し出ること。

④ 第1位が2名以上の場合、順位決定のバーの上げ下げは、走高跳は2cm・棒高跳は5cm単位とする。

⑤ バーの上げ方について天候その他の特殊条件によって変更する場合は当該審判長が決定する。

(2) 混成競技

① 四種競技の走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

男子 練習 1m20 1m40 試技開始 1m25～1m50 まで 5cm 以降 3cm 上がりとする。

女子 練習 1m05 1m25 試技開始 1m10～1m30 まで 5cm 以降 3cm 上がりとする。

② バーの上げ方について天候その他の特殊条件によって変更する場合は当該審判長が決定する。

(3) 助力

① 助力については、競技場内及び観客席からの助力は禁止とするが、コーチングエリアでの助言については競技運営や他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認める。

② 競技役員を兼ねている場合は、コーチングエリア下で行うこと。

③ コーチングエリアに入ることができるのは、各チームの監督、コーチ、引率者のみとする。

④ 当該競技中、エリア内に留まることはできるが、最前列は空けておくこと。

⑤ コーチングエリア内の最前列は、選手に直接コーチングを行うときのみ利用すること。

⑥ 競技者に対してビデオ等の映像を見せることや画像をより詳しく見るために、競技者は画像を撮影した人とコミュニケーションをとりながら録画再生機器を手にしても良い。

⑦ 審判長が認めた場合、帽子、靴、衣類、水、氷などを該当審判員を通して渡すことができる。【TR6. 4. 6】

5. 競技について

(1) 競技者・監督といえども、その競技に出場する者以外は競技場内に入ることはいできない。

(2) 発表された結果に対する抗議は、【競技規則 TR8】によって定められた時間内(同一日の次のラウンドが行われる場合には、アナウンス後 15 分、それ以外は 30 分)に各地区専門委員長(またはその代理の者)が総務員を通じて審判長に対して口頭で行う。

6. 競技用具について

(1) 競技に使用する用器具は、棒高跳のポール以外、全て主催者側が準備したものを使用しなければならない。

(2) 競技終了後にポールを競技場に預ける場合は、棒高跳の跳躍審判まで申し出ること。

7. 競技用靴について

(1) スパイクのピンは全天候用を使用し、長さは 9 mm 以下とする。ただし、走高跳は 12 mm 以下とし、ピンの数は 11 本以内とする。【TR 5. 2】

(2) 靴底の最大の厚さについては、800m 未満のトラック競技は 20 mm、800m 以上のトラック競技は 25 mm、フィールド競技は 20 mm までとする。【TR 5. 2】

8. テントの設営場所について

(1) テントを設置する場合は、以下の注意事項を守り、各校責任を持って取り扱うこと。

(2) 大会当日は開門時の 7 時 0 分から設営可能とする。

(3) 地区中体連ごとに割当(地区専門委員長の所在場所として)をしているのでその範囲内に設営すること。不足の場合は、本競技場周囲の芝生部分に設営することも可とする。設置可能場所は、会場図を参照すること。

(4) テントを設営する際、フェンスにロープ等で固定しないこと。(倒壊の恐れがあるため)

(5) 大会中テントは片付けて持ち帰ることを原則とするが、本競技場およびサブグラウンドについては骨組みだけを残したり、テントを低くしたり(シートやビニールテープも可)するなど飛ばない工夫ができる場合にかぎり残してもよい。また大会中、強風などにより撤去をお願いすることもあるので、アナウンスの指示に従うこと。(ただし、

9. その他

- (1) 8位までの入賞者に賞状を授与する。
- (2) 本大会の記録から男女各1名の優秀選手を選出し表彰する。
- (3) 8位までに入賞した選手は、表彰待機場所で待機し賞状を受けとる。
- (4) スタート前に脱いだ衣類の運搬は行わない。トラック競技はスタート地点、フィールド競技は各競技場所において、自分の荷物をあらかじめ用意されたビニール袋に入れて管理すること。なお、ビニール袋には所属、ナンバー、氏名を記入し、荷物の取り違えに十分注意すること。
- (5) 自分のゴミは持ち帰ること。(ペットボトルや缶も必ず持ち帰る事。ゴミ箱は使用できない。)補助競技場も同様とする。
- (6) 正面スタンド前(本部席前)は通行禁止とする。
- (7) 競技進行上、競技開始時刻に多少の変更もあり得るので、アナウンスを聞き漏らさないように注意すること。補助競技場は、アナウンスが聞こえない場合があるので特に注意すること。
- (8) 競技者としての自覚を持ち、見苦しい服装や態度をとらないこと。なお、競技者の服装は、大会規則に定める範囲とする。
- (9) 欠場届(受付時配布済み)は、競技開始90分前までに競技者係(招集所)へ提出すること。
- (10) リレー競技については、同一色のユニフォームを着用すること。
- (11) 選手はミュージックプレイヤー・携帯電話・その他類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- (12) 応援横幕・のぼり旗などの設置は、芝生スタンドの手すり部分に競技運営に支障のない範囲で可とする。
- (13) 競技中の事故については、主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (14) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管する。また、スタンドでの盗難・置き引きは十分注意すること。紛失等に関して、主催者は一切の責任を負わない。
- (15) 補助競技場については、別添の公開練習要領を十分に確認すること。